

## 職員による自己評価

## A 業務改善

- ・業務に関しては、会議等で確認・検討し、職員間で共有している。
- ・研修は日常業務との兼ね合いで時間が取りにくいとの意見がある。

## B 適切な支援の提供

- ・共通の評価表を基に個別支援計画を作成し、個々に応じた支援を提供している。

## C 関係機関との連携

- ・併行通園先に年1回の巡回訪問を行い、具体的な支援の方法や情報の共有をしている。
- ・就学先に関しては、今年度から文書による申し送りを実施予定。

## D 保護者への説明責任等

- ・個別支援計画は面談で保護者と読み合わせ、説明・確認している。個別報告、連絡シート、電話相談など保護者に合わせた形で適宜情報共有を行っている。

## E 非常時等対応

- ・緊急時対応は概ねできているとの評価。
- ・ヒヤリハット、身体拘束については事例を挙げて職員間で対応の確認を行っている。

## 保護者による評価

## A 適切な支援の提供

- ・概ね適切との評価。内容や頻度等バリエーションがあり、報告を通じて子どもへの気づきに繋がるとの声があった。

## B 保護者への説明等

- ・概ね適切との評価。懇談会が保護者同士の情報交換や悩みを共有するきっかけになっているが、機会が少ないとの意見もあった。

## C 非常時等対応

- ・緊急時対応の説明は周知されているとの評価。
- ・緊急時のことを想定し、日頃から外階段が利用できたらよいとの意見をいただいた。  
(通常はエレベーターのみの利用)

## D 満足度

- ・支援に関して9割以上の方に満足いただいた。
- ・通所することでお子さんへの新たな気づきがあり、特性や工夫について学ぶ機会になっているとの声が聞かれた。
- ・併行通園先の園生活に気持ちが向きがちなお子さんもいるが、概ね楽しく通えているとの評価。
- ・時間が短いので少し物足りないとの意見もあった。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・個別支援計画に沿った、適切な支援が実施されている。
- ・日々の支援や保護者への説明は丁寧に行えている。
- ・緊急時対応の説明等は周知されている。

## 【相違点】

- ・保護者同士の連携について、懇談会を増やすなど意識して取り組んできたが、保護者からは、交流の機会が少ないとの意見もあった。
- ・職員からは、研修の時間が取りにくいとの意見があった。

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・業務内容、支援内容共に職員間で随時情報共有・検討し、共通認識を持って運営にあたることができている。
- ・保護者とは日々の支援報告や連絡シート、面談等、多様な機会の中で相談対応を行えている。また、月の予定表や不定期のお知らせ等を通してタイムリーな情報提供ができている。

### 事業所の改善点

- ・保護者同士の連携、職員研修等、今年度の取り組みで改善、周知しきれなかった事項を改めて検討していく。
- ・保護者・お子さんの意向を踏まえ、より一層安心して療育を受けていただけるようにしていく。

### 事業所の改善への取り組み

- ・来所経路や安全面について、年度初めに丁寧に説明していく。感染症拡大等により、予定を変更する際は、保護者への説明を迅速に行ない、安心していただけるようにする。
- ・研修や職員間での意見・情報交換の場を積極的に作り、職員同士の資質向上を図る。

#### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度も、感染症拡大防止のための制限がある中、支援内容に高い評価をいただけたこと、大変光栄に思います。お子様や保護者の方と丁寧に向き合い、声を聞きながら適切な支援を提供していくことの大切さについて、改めて考える機会となりました。

今後もお子さまやご家族がより安心してご利用いただけるよう、いただいた評価やご意見を職員間で共有し、支援の向上に努めてまいります。アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。